

がん対策部会の開催状況等

開催日	2025 年 1 月 22 日（水）
構成員等	丹羽康正部会長 始め 19 名 がん関係の各分野の専門医、県歯科医師会、県薬剤師会、県市長会、県町村会、県小中学校長会、県がん診療連携協議会、同協議会看護部会、県中小企業団体中央会、がん体験者、医療ソーシャルワーカー（順不同）
議題等	1 議題 （１）第４期愛知県がん対策推進計画の令和６年度の実施について （２）第４期愛知県がん対策推進計画の目標の進捗状況について 2 報告 （１）がん診療連携拠点病院等の整備について
検討状況等	議題（１）「第４期愛知県がん対策推進計画」の推進に関する令和６年度の実施状況を説明し、今後の方向性等について意見聴取した。 （主な意見） ○ 女性特有のがん対策や就労支援等の講演会は参加者数、補助事業は件数が記載されているが、それが多いいのか少ないのか、必要な方に周知されているのかなど、数値を評価等されるとよい。 ○ がん検診の精度管理について、各市区町村でレベルの違いがあるというような話が出ている。県民の方が自分の自治体の状況を確認して考えられるような情報公開をすべきではないか。 ○ がん教育外部講師派遣事業について、学校薬剤師を活用していただくこともよいのではないか。 ○ がん教育外部講師のリストについて、医療者だけでなくがん患者支援団体のがん経験者を含めたこと自体は前進したが、講師の質の担保を図るべきではないか。 ○ がん登録の活用の推進について、がん登録データは申請すれば使えることがあまり知られていないようなので、周知が必要。 議題（２）第４期愛知県がん対策推進計画の目標の進捗状況を説明し、意見聴取した。 （主な意見） ○ 個別目標の放射線治療専門医配置の病院数が少なくなっているが、がん拠点病院という看板を出すのなら、様々ながん治療ができるようにしてもらいたい。 ○ 県指定の拠点病院が増えたということは、全体で見ればいい医療を提供する病院が増えていることになるが、医療分野の指標の評価は、拠点病院数を母数とした割合の評価のため策定時より悪化となっており、評価に齟齬がある。評価の仕方を考えてはどうか。

	報告（１） がん診療連携拠点病院等の整備指針の見直しサイクルを、がん対策推進基本計画のサイクルに合わせて４年から６年にするために調整することを報告した。 その他 ○ 当部会の委員について、患者側の委員が長く固定化している。任期について御検討いただければと思う。 ○ 就労支援については、中小企業のがん患者の方の現実は厳しく、お金がなくなってしまうと治療が止まってしまうという現実を感じている。就学支援とあわせて、県の取組をもっと知りたい。 ○ 働く世代に対する取組については、アプローチを工夫していただければと思う。
今後の取組 の方向性	○ 部会の意見内容を踏まえた上で、市町村、企業、関係機関、がん患者団体等と連携し、引き続き、がん対策の取組を推進する。